



かわかみさだひろ

河上定弘

鳥取県議会議員

県議会だより

「架け橋」

第3号
2024.11

河上定弘事務所

〒683-0802 米子市東福原4-20-7 生田ビル303
TEL:0859-36-8522 FAX:0859-36-8533

HP

<https://www.kawakami475.com>

E-Mail

info@475kawakami.com

ごあいさつ

河上定弘の県議会議員

活動に平素よりご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

今年の10月は例年になく忙しさであつという間でしたが、気づけば残暑も終わり、ようやく秋らしさを感じる季節となりました。朝晩の肌寒さに身も心も引き締まるこの頃ですが、皆様も風邪などひかれないうよう、どうぞお氣をつけてお過ごしください。

さて、10月10日に閉会した9月議会では、安心して生活するための「防災・減災の取組」について、また、暮らしに直結する「道路ネットワークの整備」について、そして、人手不足が顕著である中で「介護人材の確保」について、平井知事に質問、提案し、議論いたしました。

一朝一夕に解決とはいかない懸案ではありますが、県民の皆様が安全に安心して暮らせる鳥取県を実現するために必要な施策・取組で、また、防災・減災関連対策については私のライフワークの一つでもあり、今後とも県政に訴えかけ、実現に繋げていきたいと考えております。引き続き、私の県議会議員活動にご指導・ご鞭撻賜りますようお願いからお願い申し上げます。

令和六年十一月

鳥取県議会議員 河上定弘



委員会・政務活動

令和6年

- 7月 6日 皆生温泉海遊ビーチ海開き
- 19日 福祉生活病院常任委員会出前県議会・県内調査
(鳥取短期大学、犯罪被害者総会サポートセンター)
- 20日 YONAGOデジタル健康・防災フェスタ
- 21日 2024年少林寺拳法鳥取県大会兼全国大会選考会
- 29日 令和6年度高校生議会
- 30日 鳥取県立鳥取砂丘こどもの国
ネーミングライツ愛称看板除幕式

7月31日~8月2日 福祉生活病院常任委員会県外視察(高知県)

- 8月 3日 プラネタリーヘルス・イニシアティブ
鳥取大会2024
- 15日 令和6年護国神社夏季崇敬感謝祭
- 20日 令和6年度鳥取県市立学校振興大会
- 21日 福祉生活病院常任委員会
- 22日 第169回関西広域連合委員会
・関西広域連合議会8月定例会
交流懇親会

- 9月 4日 旧陸軍墓地慰霊祭
- 7日 とっとりスイーツフェスタ
- 8日 大山悟道場10周年記念式典
- 11日 福米西地区敬老会
- 12日 令和6年度県民総合福祉大会
- 12日 国土交通省自転車活用推進功績者団体表彰受賞記念シンポジウム
- 22日 第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
- 23日 とっとり手話フェスLIVE 2024
- 28日 2024木の住まいフェア など



出前県議会(鳥取短期大学)



福祉生活病院常任委員会県外視察(高知県)



旧陸軍墓地慰霊祭

9月定例会

会期28日

9月13日～10月10日

■防災・減災、国土強靱化に向けた取組

質問 拡大開催された地域県土警察常任委員会、内閣府原子力防災担当者に「複合災害を想定し避難計画の実効性を高めるため、地元の熱望する高規格道路整備などにどう応えるのか」と質問し「避難路として新設される道路の整備にできる限り対応をしたい」旨の答弁をもらった。防災、減災の観点からも米子境港間の高規格道路の早期開通を実現すべきでは？

知事答弁 地元の要望について、国から配慮、検討する旨の発言を引き出したことは非常に重要。国と一緒にルート実現のための勉強会も設置し、現在凍結されている米子～米子北間の高速道路の解除も含め、計画段階評価など計画の具現化をめざしたい。

質問 社会資本整備は、防災・減災、国土強靱化の取組も含め未来への投資であり、県民の生命・財産・暮らしを守るだけでなく、地域の持続可能な経済発展にも大変重要な役割を担っている。昨今の物価高騰に対応して毎年の事業量を確保するために予算措置を行うことが重要では？

知事答弁 国への予算要望に加え、最近の災害の頻発化、激甚化を踏まえ、今後も防災・減災、国土強靱化などの一定の水準の予算を確保していきたい。

質問 街路樹に関して、効率的・効果的な調査、点検を定期的に行うため、デジタルデータを活用してはどうか？また外浜産業道路の空洞化しやすく倒木の危険性もある“ニセアカシア”の植え替えを促進すべきでは？

知事答弁 デジタル化を試行的に実施し始めたところ。運用を踏まえ、今後、県内での

横展開を考えていきたい。

県土整備部長答弁 危険性を確認しつつ、間引きや“ゴブシ”への転換を行いたい。また沿線の樹木整備もしっかり進めていきたい。

質問 2027年に横浜で約半年にわたり1500万人以上の来場者を想定し開催される「国際園芸博覧会グリーン・エキスポ」へ鳥取県ブースを出展し、鳥取県の里地里山をはじめとする取組や自然環境、県産農産品などを世界にPRしてはどうか？

知事答弁 来場者も多く、国内外にアピールするチャンス。色々な構想を練って出展することに大きな意義があり、若手も含めた造園関係者の人材育成等にも資するためポジティブに検討したい。

※ニセアカシア：落葉広葉樹。成長が早く街路樹として植栽されてきたが、倒木や歩道の根上りの問題も発生している。

※ゴブシ：落葉広葉樹。強風や潮風に強く、耐寒性も高い。

■道路ネットワーク整備に向けた取組

質問 東福原樋口線（自衛隊道路）に関して、未整備区間（西福原～両三柳）の交通がボトルネックになることは明白。子育て世帯も多く、歩行者の交通安全と慢性的な渋滞緩和のため、歩道の整備や右折レーンの設置など事業実施を急ぐべきでは？

知事答弁 残る整備区間に関しても、きちんと仕上げるために鋭意進捗を図りたい。

県土整備部長答弁 昨年度調査し、今年度予備調査を進めている。地域住民の意向をしつかりと確認し、米子市と協議、調整しながら、都市計画決定を行うなど事業を進めていきたい。

質問 新米子アリーナ完成や山陰自動車道日野川東IC～米子南IC間の全線4車線化供用開始など交通量の更なる増加を見据え、中心市街地と観音寺・車尾を結ぶ新

規ルート（米子駅車尾線）の整備が期待される。国道9号線のわこう前交差点、米子市公会堂前交差点等の渋滞緩和や新米子アリーナへのアクセス強化という意味でも必要とされる路線であり、整備促進すべきでは？

知事答弁 県単独事業の調査で1日2万台の交通量が見込まれ、利用頻度が高い路線であるとの認識。ただ法令上は四車線の道路が必要で、市街地でもあり地元住民の理解も重要。大きな事業量が見込まれるなど課題も大きい路線だが、精力的に協議を進めていきたい。

質問 米子市が「ウォーカブルなまちづくり」の一環で県管理の駅前通りの計120mの車道4車線のうち1車線を減らし、歩行空間の拡大に向けた実証実験を11月に行う予定。今後の展開に期待するが、道路管理者として所見を伺う。

県土整備部長答弁 交通量も多い道路。実証実験の結果を踏まえ、現在設立されている協議会で駅前通りの歩行空間の確保、歩いて楽しいまちづくりなどのように貢献していけるか一緒に考えていきたい。

※ウォーカブルなまちづくり：広い歩道、バリアフリー化、公共交通との連携や緑地整備などにより、歩行者の安全性と快適さを向上させ、健康促進や環境負荷の低減、地域の活性化につなげる取組

■介護人材確保に向けた取組

質問 YMCA米子医療福祉専門学校の介護福祉科の来年度募集停止が予定されており、慢性的な介護人材の不足に加え、特に西部地域の人材不足が懸念されるが、今後、介護人材確保をどう図るのか？

知事答弁 関係者で協議会を立ち上げ、活発な議論を始めたところ。様々な意見を踏まえ、新年度の介護人材の確保・養成に向け、協議を進めたい。

プロフィール

昭和49年7月23日、日野郡江府町生まれ
江尾小学校、江府中学校、米子東高等学校 卒業
法政大学工学部土木工学科 卒業
東京大学大学院修士課程（社会基盤工学専攻）修了
鳥取県庁職員、システム開発会社（SE、PMとして）勤務
衆議院議員 赤沢亮正 公設秘書（秘書歴15年）
米子市在住（妻・長男・長女）



現職

鳥取県議会議員
鳥取県議会／福祉生活病院常任委員会 副委員長
会派／鳥取県議会自由民主党 副政務調査会長
自由民主党鳥取県支部連合会 青年局幹事長



河上定弘
公式LINE

河上定弘

Q 検索

